

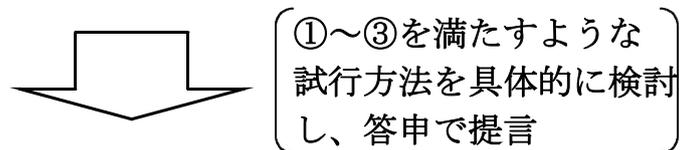
これまでの議論と答申に向けた検討の方向性について

① 「政策提言型」の検証と運営のあり方

＜これまでの議論（まとめ）＞

○ 最初に運営の「型」を決める現行の試行は、審議充実の観点から課題（議論を深めるには時間的な制約があること、提言テーマと所管事項（付議事件）に乖離があること等）がある旨指摘。

→ ①委員間で議論を深めていった結果、②必要に応じて、③よりよい内容の「提言」をまとめることができる、柔軟な委員会運営を目指す必要があるのではないか。



＜答申に向けた検討の方向性（案）＞

◎ 来年度から試行方法を見直す（見直した上で試行は継続）。

◎ 新たな試行実施案としては、次の方向性で検討することとし、次回、そのための具体的な「たたき台」（矢印の先の内容部分）を提示

① 必要に応じ、適切な時期に、柔軟に「政策提言」の必要性を判断できるような運営を試行。

→ どのような試行になるのかが分かりにくいので、具体的な運営イメージを答申で示してはどうか。

② 「委員間討議」は継続。

→ 「必要に応じ、適切な時期に、柔軟に「政策提言」の必要性を判断する」といっても、その判断をする論議の場としての「委員会討議」は必要。

→ 「どう」継続させるのかを検討し（標準的な運営に追加する等）、具体案を答申で提言してはどうか。

③ よりよい内容となるような「提言」のまとめ方を検討。

→ これまでの委員意見を整理し、一致できるものについて、試行的な実施を答申で提言してはどうか。

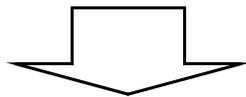
② 特別委員会のあり方

<これまでの議論（まとめ）>

- 府議会の現状及び全国の状況は、資料3のとおり
- 次の論点整理（10月6日）を実施（具体案は未検討）

<論点整理>

- ・ 「政策提言型」の論点整理に基づく検討とともに、来年度以降の特別委員会のあり方について、まずは、府議会として、どのように考えるべきか（基本的な考え方）についての議論を深めた上で、次のような検討が必要かどうかを議論してはどうか。
 - 1 緊急事態に備えた柔軟な特別委員会の設置の必要性（必要とする場合には、その手法を含む。）
 - 2 1も踏まえ、「政策提言型」を含めた現行の5委員会について
 - (1) 設置数
 - (2) テーマの設定（設定の方法・時期、「政策提言型」とするかどうかの判断・手続、所管事項調査との関係、出席要求理事者が重ならないようにする前提の如何等）
 - (3) 正副議長を除く全議員が参画していることの是非
 - (4) 任期（任期のあり方の検討には、その内容に応じた年間活動計画（提言の時期等）のあり方の検討を含む。）
 - (5) その他



<答申に向けた検討の方向性（案）>

- ◎ 次の方向性で更に検討することとし、次回、あらためて、各委員から具体案等を聴取。

- ① 上記の論点整理項目のうち、一致できる可能性がある項目があれば、「来年度のあり方」検討のため、優先的に議論。
- ② ①のほか、特別委員会のあり方を自由に議論し、意見の一致・不一致にかかわらず、今後の検討に生かす趣旨で、議論や発言等の要旨を答申に記載。

③ 府議会のICT化

<これまでの議論（まとめ）>

- 9月定例会で試行したペーパーレス委員会（総警、文教）のアンケート結果からは、ICTのメリットを生かせるよう、早期の導入を希望する議員が多くある一方、慎重な御意見もあり

→ 現時点では、自身が「使いやすい方」を「使う」のが「審議の充実につながる」とみられる中で、方向性を整理



<答申に向けた検討の方向性（案）>

- ◎ ペーパーレス委員会の「本格実施」は、前年度答申のとおり、令和5年度（改選後）を目安とする。
- ◎ それまでの間は、それぞれの議員の状況を踏まえ、ICTのメリットの浸透を丁寧に図りながらも、早期に活用したいという声にも応える試行的取組（以下「発展的試行」という。）を行い、「本格実施」につなげる。
- ◎ 上記の方向性を踏まえた上で、具体的な実施計画案（来年度のペーパーレス委員会の試行など）を作業部会で検討するときは、次の点に留意。
 - ① 令和3年度からの試行は、発展的試行のスタートとして、まずは、紙を使ってもよいし、使わなくてもよい（ペーパーレスで対応）という形で、取り組めるようにする。
 - ② ①による紙とペーパーレスとの併用については、次の点に留意する。
 - (1) 現時点では併用が必要としても、改選後の「本格実施」に向けた位置付け（例えば、下準備と位置付けるなど）を、今後のスケジュールとともに整理すること。
 - (2) 執行部のICT化の進展状況に応じた取組となっているかどうか、職員の事務負担がどうか等を踏まえた実施案とすること。